

戦渦の 陶磁器

「まいコレ」では、収蔵庫に眠るイ
チ押し出土品を、月替わりでご紹介。

今回は、土の中に埋納された陶磁器
の紹介です。

■ 出土地：喜友名貝塚（宜野湾市）

遺跡の発掘調査では、意図的に埋められた陶磁器が発掘されることがあります。このような状況は埋納と呼ばれる県内でも数例確認されています。しかしその意味や目的は、時代によって異なると考えられます。

グスク時代から近世の埋納は地鎮などの祭祀行為と捉えられますが、近代の埋納は沖縄戦に伴う個人財産の一時避難であったと思われます。

喜友名貝塚からは本土産磁器117点、中国産青花1点、計118点もの陶磁器が裏返しに重ねられるようにして一括して出土しました。

この状況からは、当時の沖縄における陶磁器の嗜好が読み取れるほか、戦時中の緊迫した空気と“いつの日かこの地に戻って暮らしたい”との思いをうかがい知ることができます。



埋納された陶磁器（喜友名貝塚）▶